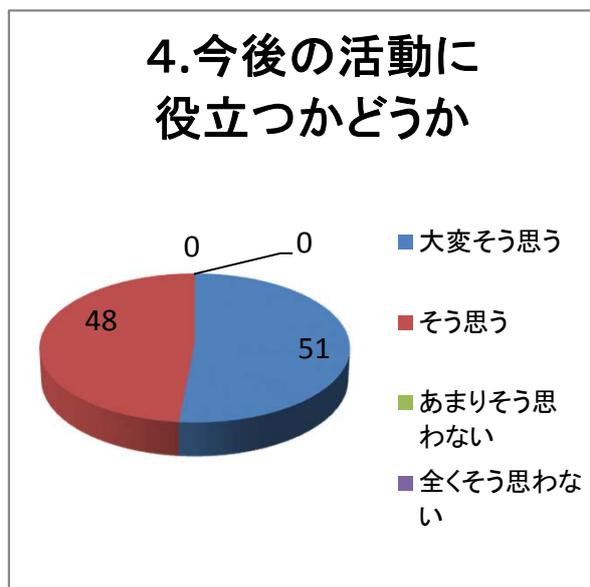
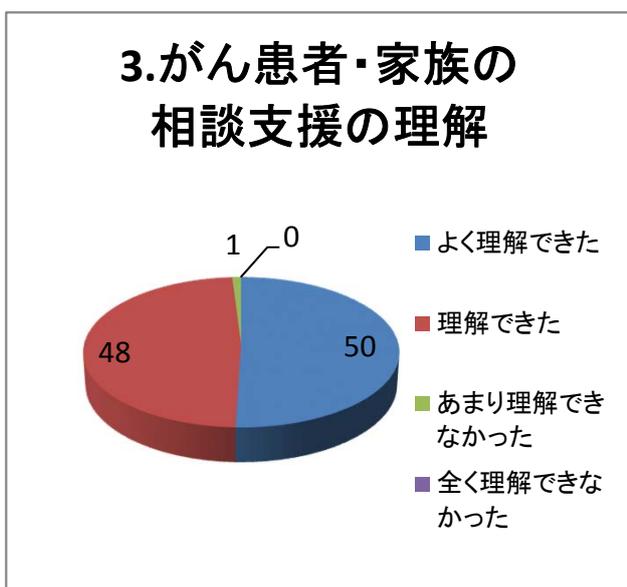
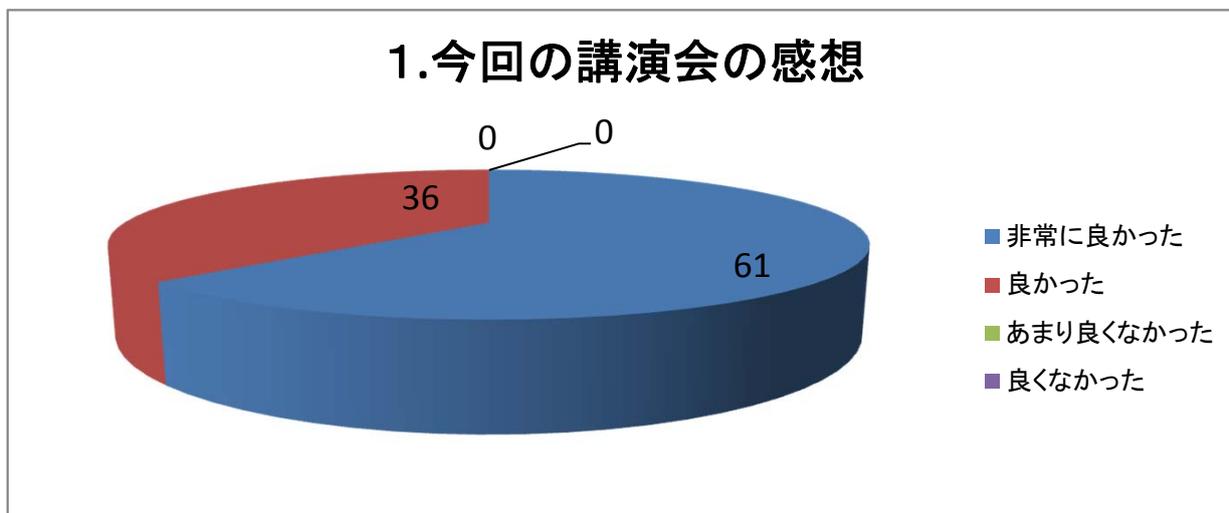
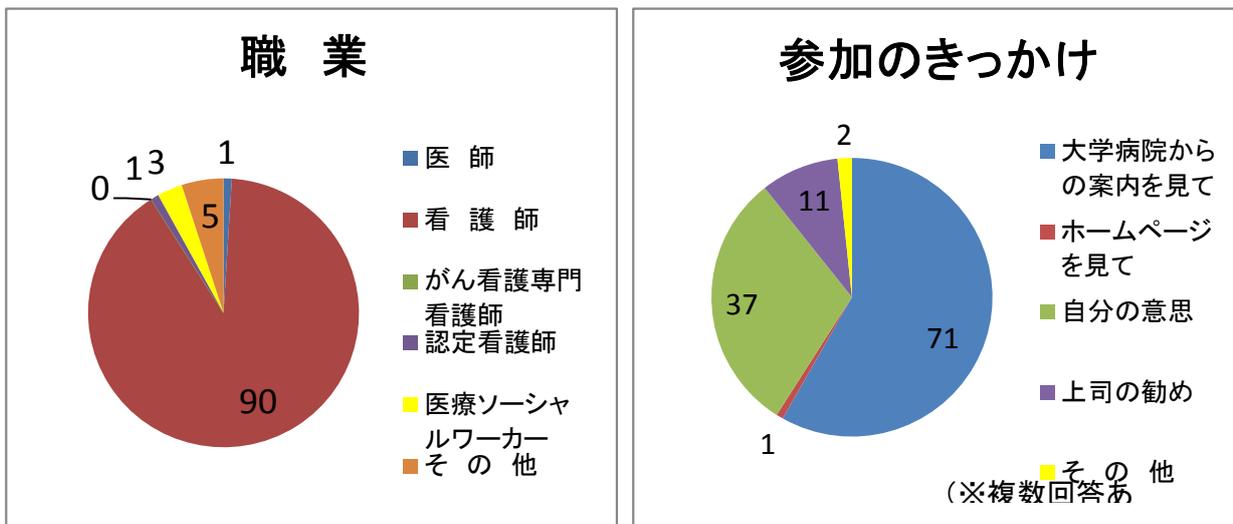


がん看護講演会 参加者アンケート結果

参加者140名 アンケート回答99名



2.一番印象に残ったこと

- ・がん研有明病院における緩和ケアセンター、がん相談支援センターのしくみ
- ・スクリーニング方法
- ・スクリーニング結果をどう生かすか
- ・講演 & 特別講演(花出先生のお話)
- ・花出先生のお話の中の症例発表が印象に残った
- ・がん研有明病院がん看護専門看護師の事例紹介
- ・がん看護専門看護師の活動内容、事例
- ・有明病院での事例は分かりやすく印象に残った
- ・事例紹介が良かった
- ・事例紹介でのCNSの役割
- ・がん看護相談の事例紹介、実際の事例を通してどのようなアプローチをしているのかがよくわかった
- ・事例紹介で介入について教えて頂いたこと、貴重なお話で大変良かった
- ・花出先生の事例紹介、実際の関わり方がよく分った
- ・花出先生のお話は今回で3回目。今回この機会を設けて頂き、ありがとうございました
- ・事例紹介と実際の看護師の関わりについて聞けたこと
- ・事例紹介を聞いた事が具体的に理解することに繋がって良かった
- ・事例紹介で実際の相談支援について
- ・事例紹介→対応の仕方
- ・事例紹介のグリーンケア介入について
- ・事例を通した実際の対応
- ・事例を通して患者家族への相談支援の関わりを聞けたところ
- ・具体的な事例を通してがん患者とどういうふうに関わってきたかがとても分かりやすかった
- ・ケース(事例)があったことで考えさせられた
- ・具体的な事例をあげての相談支援の実際が非常に分かりやすくて良かった
- ・事例を通して具体的な関わりを紹介して頂けた
- ・具体的な事例を用いて患者や家族との関わり方を提示してくれていたのも、自分の今までの関わってきた患者などを振り返り、どのように関わればいいのか考えることが出来た
- ・事例を具体的に分かりやすく教えて頂いて、とても参考になった
- ・事例を通しての実際の関わりを学べたこと
- ・Ptへの対応、言葉掛け等、事例を通して話して下さったこと
- ・本人が亡くなった後、家族が訪問してくれたという事例で良い関わりが出来ているのだろうと思った
- ・事例、子供へ伝えること
- ・小さな子供でも伝える事が大切である
- ・母の死の子供の受容(事例より)
- ・大切な人に伝えることの支援
- ・事例をもとにした意思決定支援
- ・意思決定支援に関わる難しさ
- ・IC(説明と同意)だけでなく、意思決定支援をするのだということ
- ・「気がかりは何ですか？」という声掛け
- ・花出氏の患者への質問の言葉「気がかりは何ですか」と聞くという内容
- ・一番に気がかりな事は何ですか？と聞く→患者に寄り添う
- ・いつも相談にのる時に核心が分からず、結論が出せないこともあったが、
- ・今後は「気がかりなことは何か」という思いを引き出す言葉を使いたいと思う
- ・実際のケースを聞いて:対応の方法について「気がかりは何ですか・・・」と尋ねることで
- ・患者様や患者家族の思いを引き出すことが大切だと思った
- ・「気がかりは何ですか？」という声掛けをしていると話されていたこと、普段の業務で早速使っていこうと思っ
- ・気がかりは・・・何ですか？と相談にのってあげること
- ・傾聴することの大切さや寄り添う事の大切さを再認識した
- ・傾聴、感情
- ・患者、家族の相談支援の中で傾聴だけでなく、思いを引き出ししたり、
- ・分析したりすることが大切であり、また難しいと感じた
- ・患者に対する関わりを見直すきっかけになった
- ・患者さんの気持ちに寄り添って看護をすることの大切さを、ケース紹介を通じて改めて考えることが出来た
- ・心のサポートが一番必要なのかなあと感じたこと
- ・患者と患者家族の気持ちの橋渡しのサポートのもっていき方
- ・人の触れ合いで苦痛の軽減がみられるということ
- ・Ptさんと一緒に悩み、一緒に考える
- ・がん相談に携わる職の可能性と限界
- ・1人で抱え込まず、周りと繋げていくという言葉、なにかしなくてはと思わないようにという言葉で気持ちが楽になっ
- ・相談支援で大切なのは本当に不安なことを引き出すということ、これからの相談業務の中で取り組んでいきたい
- ・Nsだけで一般の方へのセミナーを開催するという活動への取り組み、Nsが相手の気持ちを引き出す
- ・ケースの最後の方の経過とその接し方が印象に残った
- ・Nsとして患者さんの気持ち、ご家族の気持ちを大切にしたいと改めて思った
- ・患者さんの話を聞くこと、寄り添う
- ・私は緩和ケアの実際の取り組みなどほとんど無知だったので知る良い機会になった
- ・全ての内容が新鮮で、興味深かった
- ・松岡看護師の熱心さが伝わってきた

5.講演会へのご意見・ご感想

- ・もう少し遅いスタートだったら、参加できるスタッフがいたのが残念
- ・時間通りに開始して欲しい。開始が少し遅れたのが気になった
- ・定期的にして欲しい
- ・治験センターでCRCとして、1st、2nd、3rdラインそれぞれのガン患者さんと関わる
治験という新薬にチャレンジできるチャンスを提供する役割だが、患者さんの病期ステージに合わせたケア・看護に悩む場面が多々ある
CRCというコーディネーターだが、看護師として出来ることは何かと日々の業務の中で考えさせられる
- ・現在、外来でがん患者さんに関わる機会がある
今日の講演会で学んだことを今後の仕事に生かしていきたいと思う、ありがとうございました
- ・患者さん、その家族への声掛けなどとまどう場面も多いが、
今回の事例紹介でヒントになることが多々あったので、現場で生かしたい
- ・大変勉強になった、今後の看護に生かしていきたいと思う
- ・明日からの看護に生かす
- ・意思決定支援がとてもよく出来ていると感じた
どのようにされているのかが事例を通じて良く分かり、実際に生かしていきたい
- ・病棟で化学療法や、放射線治療を受けられている方や、家族の方との接し方を見直したいと思う
- ・今回の講演を参考にがん患者さんとの関わり方を考えていきたいと感じた
- ・積極的に患者さんに関わっていきたくと思った
- ・がん看護を専門に勉強したいと思った
- ・日々のケアや傾聴の時、参考にさせて頂く
- ・他院でのがん看護の取組を知る事が出来て、とても参考になった
- ・相談内容の実際を聞く機会が少ないので参考になった
- ・Ptさんへの今後の関わり方について、大変勉強になった
また、1回の相談で解決しようとせず、自分が何も出来ない事を責めすぎないようにしようと思う
- ・苦痛スクリーニングを使用したケアはよいと思う、色々な症例を通して、よりよい相談支援をして頂ければと思う
- ・実際、もし自分が罹患したらどうしてほしいかとか、自身に置き換えてがん看護を考えることができた
- ・自身が家族を看取った時のことを思い出しながら聞いていた
サポートしてもらえる、相談できる部門があるのは心強いと思った
- ・がん患者家族の相談支援についての1例を分かりやすく講演して頂き良かった
- ・自分だったらどう対応したんだろうかと考えながら聞き、とても考えさせられた
- ・緩和ケアへの取り組みを知る事が出来て有意義な時間となった、ありがとうございました
- ・事例の紹介をして頂いたのは良かった
- ・実際の事例を紹介して頂きよく分った
- ・よい話を聞かせていただきありがとうございました
- ・大変勉強になった、ありがとうございました
- ・良い講演会だったと思う、お疲れ様でした
- ・緩和ケアの事例はいつも涙が出る、良かった。
- ・聴講して良かった

6.今後開催してほしい講演会

- ・相談支援(がん)を再度お願いしたい
- ・入院中の家族へのサポートについて(対応の仕方)など勉強したい(終末期)
- ・退院支援